

THP-COP療法

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
プレドニゾン注	60mg	30分	↓																				
グラニセトン注	3mg																						
ピンクリスチン注	1mg/m ² *1	全開で点滴	↓																				
ピラルピシン注	30mg/m ²	30分	↓																				
シクロホスファミド注	500mg/m ²	3時間	↓																				
プレドニゾン錠	* 2			↓	↓	↓	↓																

* 1: 1回投与量2mgまで

* 2: 用量は個別に医師の指示あり。

■副作用への対応

- 心機能低下 ----- 繰り返し点滴することにより労作時の呼吸困難、下肢浮腫、急激な体重増加などの症状が現れることがあるため、定期的に心エコー検査を行う。(ピラルピシン)
- 末梢神経障害 ----- 治療を繰り返すことによって手足がしびれることがある。(ピンクリスチン)
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなるがあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回(8回/日以上)のうがいをする。
- 好中球、リンパ球減少 ----- ヘルペスウイルス感染、帯状疱疹、ニューモシチス肺炎、サイトメガロウイルス感染などの日和見感染のリスクがあるため、予防薬が処方されることがある。
感染症予防のために、手洗い・うがいを頻回(8回/日以上)に行う。
- 脱毛 ----- 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。